

企画展「生命をふきむ」一筆——桃紅のリトグラフ——
「HAGOROMO」

はきりとした濃い縦の線の左右に、透き通る墨色の面がいくつ寄り添っていきま
す。これらは同じ版をもとにしたリトグ
ラフの作品ですが、濃い縦線の上の朱色、
淡い面の上の黄土色はそれぞれ違う桃紅
独自の直筆の一筆によって添えられてい
ます。この一筆の違いが、伝説にある天
女の羽衣のゆらめきのように、画面に微
妙な躍動感の違いをもたらしています。

またよく2点の作品を見ると、最後の
一筆以外にも趣が異なる部分がありま
す。それは版画といえども手摺りである
がために、わずかに色の濃さなど異なる
部分が生まれるからです。桃紅にとって
リトグラフを制作する際、難しいのは、
自分の思い描く淡い墨色を画面に表現す
ることだといえます。桃紅の場合、刷り
の行程を木村氏に一任していることか
ら、よりできあがりの予測が難しくなっ

ています。しかし桃紅はリトグラフに関
して、次のように綴っています。
「生の筆を、一たん封じ込めて、よみが
えらせる手だてには人のいのりの心を
託す場がある。その心が、書く者、刷る
者の間に行き交いを生み、そのあいだ
を右往左往する電流を、私などはいっ
もたのしいものに感じて、リトグラフ
を作っている。」（『その日の墨』冬樹社
1983年より）

この制作者としての柔軟さが、作品に
多彩な表情を生みだすきっかけになってい
るのかもしれない。

今回の企画展では、このような同じ版
のリトグラフ作品に焦点をあて、比較す
ることとその表情の違いを分かりやすく
紹介しています。肉筆の墨象作品と同
様、世界に1つしかない桃紅のリトグラ
フ作品をお楽しみください。



それぞれ「HAGOROMO」 1997年 53.0×71.5cm

- ◆会期 12月28日(日)まで
- ◆入館料 高校生以上 300円
中学生以下 無料
- ◆休館日 月曜および祝日の翌日
- ◆開館時間 午前9時～午後4時30分
- ◆照会先 篠田桃紅美術空間 ☎23-7756

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう vol. 53

さんかくサポーターの豆知識⑦

男女共同参画社会

「次世代育成支援対策推進法—新たな取組—」

照会先 さんかくサポーター事務局
(企画政策課内) ☎23-6831

平成15年に制定された「次世代育成支援対策推進法」が工夫して自社の方針を立てることが大事です。
…なんだか漢字ばかりで、舌を噛みそうな名前ですね。 その目標に向けて取組み、目標が達成できたことを
急速な少子化の流れを変えるため、会社で働く従業 国に認定申請をして、認定されると「くるみん」というか
員の仕事と家庭の両立を図り、働きやすい職場づくりを わいい認定マークを使用することができ、「わが社は子
目指して、企業が取組もうとする目標をつくり、それを実 育て支援に積極的です」という企業のイメージアップ
行するために制定されました。 に活用することができます。
具体的にどんな目標をたてればよいのか、たとえば 現在この法律は、従業員301人以上の大企業には義務
出産・育児をしている従業員を対象に妊娠中の健康管 付けられています、中小企業にはできるだけ努力して
理や育児時間の確保、子どもの出生時における父親の ください、ということになっています。
休暇取得の促進、育児休業を取得しやすくし、職場復帰 多くの企業が「ワーク・ライフ・バランス」を実現して人に
しやすい環境の整備をする。また、育児をしていない従 優しい雇用環境が整えば、その家族や地域にも波及し、心
業員も含め、働き方の見直しとして、ノー残業デーの導 豊かな社会へと変わっていくのではないのでしょうか。〈S〉
入や年次有給休暇の取得促進。その他の取組として、企 業内で子育てについて学ぶ機会の提供や子どもに働く 父や母の姿をみせる「こども参観日」の実施など各企業

このコーナーではさんかくサポーターが制度や用語をわかりやすく紹介します。